

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	双海地域漁業管理事業			
予算科目	6 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 水産業の振興			
所管課情報	担当課: 農林水産課		電話番号(内線): 583	
記入者情報	所属長: 亀岡 泰三		担当責任者: 角田 栄治	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	水産業漁業者			
根拠法令等	伊予市漁港管理条例			
事業の目的	漁港施設の整備及び維持管理等を行うことにより、水産振興の向上を図る。			
事業の内容	漁港施設等の整備及び修繕等維持管理を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	9,112	7,585	695	6,272
	人件費	406	397	198	397
	合計	0	7,982	893	6,669
人件費 内訳	人工数	0.05	0.05	0.03	0.05
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	406	397	198	397
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,518	7,982	893	6,669

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
漁港維持管理費	%	88.9	100	11.2	83.6

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	4,973	5,000	5,000	5,000	5,000	24,973

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額			
指標設定の考え方	予算額100%に対し、決算額の割合を減らすことにより、事業のコスト縮減を図れることになる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目 標	100	100	100	100
実 績	88.9	83.6	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	漁港施設が老朽化していることから、維持管理費が増加することが懸念されるため、長寿命化計画を立てる必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	漁港施設管理は、当地域の漁業振興上必要不可欠であり、引き続き経費削減を図りながら、適切な維持管理に努める必要がある。なお、漁港施設が老朽化していることから長寿命化計画を立てるなど、施設の更新整備を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題